



私のひとりごと

「東京人は…」

建築業界には多くのノウハウを提供する会社があり、毎週のようにセミナーのお誘いが届く。経営者は誰でも不安の中で生きているが、その心理を知ってか、甘い言葉や不安をかきたてるキャッチコピーを使い、セミナー参加に誘導する。開催地は東京や大阪などの首都圏が多く、行くだけでもそれなりの費用が発生する。勿論、セミナー自体も無料ではなく高額な費用がかかる。なかには無料セミナーもあるが、その場合は帰り際に、結局高額なノウハウの購入を勧められるのがオチだ。また、高い費用を払ったとしても全てが役立つ訳でもなく、せいぜい二割程度で、あとは努力しだいということになる。つまり、必ず成功するノウハウは世の中に存在しないのだ。



【長時間でもきちんと並んで待つ。日本人の美德ですね】

さて今回、数あるセミナーのお誘いの中から久しぶりの参加を決めた。開催地は東京の浜松町。開催時間が早いため前日からの移動で、敦賀を20時すぎの電車に乗れば23時には品川に到着予定である。ところが、静岡をすぎ三島付近にさしかかると、新幹線が止まってしまった。アナウンスで「この先の小田原付近で豪雨のため、運転を見合わせております。」と言う。最初放送の雨量は60ミリであったが、放送を重ねるごとに70ミリ、80ミリと増えていく…。どうなるのだろう…と不安に思っていると、「東京駅に宿泊用の新幹線を用意しましたのでご利用下さい。」

とのアナウンスが入る。到着してからの各路線での最終電車の乗り継ぎに間に合わない判断をしたと思われる。ニュース番組で、車中に泊まっている映像を見たことはあるが、まさか自分も同じ目に遭うとは…。ところが幸いにも雨は小降りになり、新幹線は動きだしたが、品川に着いた時にはすでに終電は出た後である。もはやタクシーに頼るしかなさそうであるが、当然タクシー乗り場は長蛇の列。しばらくおとなしく並んでいたが、時間も時間だけに頻りにタクシーが来るわけでもない。ただ、近くのコンビニを見ると、そこにもタクシーが止まっているが列の誰一人動く気配もなく、「東京では乗り場以外で乗れないの？」と思うほど。待ちきれず、一緒に来ていた次男をコンビニに向わせ、タクシーを拾うことが出来たが、私とうまく連絡が取れず結局乗れなかった。そうこうしている内に、私達の順番も近くなり動くに動けなくなった。その間、ウロウロとタクシーを探し回る行動をしたのは、せっかちな関西人気質？を持つ私達だけである。でも、近くにタクシーを拾える場所があるのに、列も乱さず待っている関東人気質？は、感心を通り越し理解し難いものもあるが…。さらに驚いたのは、前の人がタクシーに乗り込む際、並んで待っている人に向かい「お先に失礼します。」と言わんばかりに頭を下げ乗り込んでいったこと…。強い衝撃を受けつつも、順番が来た私はそそくさとタクシーに乗り込み行き先を告げるだけである…。浜松町のホテルに着いたのは午前2時近くになっていたが、フロントでは深夜とは思えない笑顔で迎えて頂いた。う～ん…東京には優しさと人情があふれている…。

ではまた来月もお会いしましょう。

今月も最後まで読んでいただき…、

あーがしう
ごさいました!!

